

**越境 EC サービス「Buyee」での流通総額において  
アメリカが初のシェア No.1 を獲得****～+119%の流通伸長を受けて、巨大マーケット・アメリカでの日本企業の流通拡大を目指す～**

BEENOS 株式会社(東証一部:3328、以下 BEENOS)の完全子会社が運営する越境 EC の代理購入サービス「Buyee(バイイー)」では、2021 年第 2 四半期(2021 年 1 月 1 日～3 月 31 日)の流通総額の国別シェアで、アメリカが初めて首位になりました。アメリカでの流通総額は毎年伸長を続けていましたが、今回前年比+119%(\*1)と大幅に伸長し、初めてトップとなりました。

新型コロナウイルスにより世界的にステイホームが求められる中、日本のコンテンツに接する時間が増え、ホビー関連の需要がアメリカで伸長しています。Buyee では、2021 年 2 月よりアメリカ、カナダ、メキシコ向けの新配送サービスを独自に導入し、従来と比較して平均で約 59%(\*2)、最大で約 76%安い(\*3)国際配送料金を実現しています。これら 2 つの理由により、巨大マーケットであるアメリカでの需要を取り込み、流通を押し上げることに成功しました。

経済産業省が 2020 年 7 月にまとめた「電子商取引に関する市場調査」によると、2019 年にアメリカの消費者が日本から購入した金額は前年同期比+9.7%の 9,034 億円に伸長しています。(\*4)さらに、ZION Market Research によると、2020 年の世界の越境 EC 市場規模は 9,123 億 US ドルと推計され、その値は 2027 年には 4 兆 8,561 億 US ドルにまで拡大すると予測されています。(\*5)

今後、ますます拡大が期待される越境 EC 市場において、モノ・人・情報を「日本から海外へ」、「海外から日本へ」と双方向に繋ぐグローバルなビジネス展開を強みとする BEENOS グループは、お客様へのさらなるサービスの向上を図ってまいります。これにより、コロナ禍での日本企業の越境 EC の流通拡大を目指します。



The graphic features a stylized American flag background. On the left, a gold laurel wreath encircles the text '2021 第2四半期 No.1'. In the center, the Buyee logo is displayed above the text '越境ECサービス「Buyee」での流通総額において'. At the bottom, the main headline 'アメリカが初のシェア No.1 を獲得' is written in large, bold characters, with 'No.1' in red and 'シェア' and '獲得' in blue.

## ●越境 EC サービス「Buyee」にて、アメリカでの流通が+119%(\*1)拡大

Buyee の 2021 年第 2 四半期の流通総額は前年同期比+45.6%(\*6)と大きく伸長しました。中国や ASEAN 諸国など多くの国からの受注が伸びる中、特にアメリカでの流通は前年同期比+119%(\*1)と大幅に拡大いたしました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により停止を余儀なくされる国際配送サービスがある中、越境 EC において 12 年以上の実績がある BEENOS グループは独自のリレーションを活かして、他社に先駆けて物流手配を確保し、アメリカからの需要の取り込みに成功しました。この需要拡大における物流量の増加により、新配送サービスでの国際配送料を抑えることができ、流通の拡大を実現いたしました。

## ●アメリカで人気のホビー関連商品、メインの購買層は 20 代の若者

新型コロナウイルスにより世界的にステイホームが求められる中、日本のコンテンツに接する時間が増え、特にアニメやゲームなどホビー関連アイテムの需要が高まっています。アメリカの主な購買層は日本のカルチャーやファッションを好む 20 代の若者で、特に、コミックやアニメグッズ、特撮系グッズが売れているほか、日本のストリートファッションやスニーカーへも高い興味関心を寄せています。越境 EC で買い物する際に参考にするのは、動画サイトや各種 SNS で、コミュニティ内で情報交換をするという新しい購買傾向が特徴です。

BEENOS グループは越境 EC のリーディングカンパニーとして、2008 年に海外転送サービス「転送コム」事業を開始し、テクノロジーの力で日本から海外、海外から日本を双方向に結ぶグローバルプラットフォーム構築を掲げ、あらゆる人・企業とグローバル市場を繋ぎ、新しい常識や可能性の提供を目指しています。今後も、巨大マーケットであるアメリカでの日本企業の流通を拡大し、コロナ禍でインバウンド需要が蒸発してしまった日本経済の復興に貢献できるよう努めます。

(※1)2021 年第 2 四半期(2021 年 1 月 1 日～3 月 31 日)の Buyee におけるアメリカでの流通総額の前年同期比

(※2)従来料金と比べた新料金の割引率の平均値。0.5 kg～10 kgの間で算出

(※3)従来料金と比べた新料金の割引率の最大値。0.5 kg～10 kgの間で算出し、4 kgの料金が該当

(※4)経済産業省(2020 年 7 月)「令和元年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(電子商取引に関する市場調査)」

<https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200722003/20200722003-1.pdf>

(※5)経済産業省(2020 年 7 月)「令和元年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業(電子商取引に関する市場調査)」内の ZION Market Research 発表データ

<https://www.meti.go.jp/press/2020/07/20200722003/20200722003-1.pdf>

(※6)2021 年第 2 四半期(2021 年 1 月 1 日～3 月 31 日)の Buyee における流通総額の前年同期比

## 【BEENOS グループの概要】

BEENOS グループは、モノ・人・情報を「日本から海外へ」、「海外から日本へ」と双方向に繋ぐグローバルなビジネス展開を強みとしており、グローバル EC サービスの運営や、インバウンド需要を見込んだ日本独自のコンテンツ商材の企画・開発、そして国内外 9 カ国 70 社以上の企業への出資を行っております。

越境 EC 関連サービス「転送コム (<https://www.tenso.com/>)」と「Buyee (<https://buyee.jp/>)」においては、両サービスあわせて 2,500 以上 (2020 年 9 月現在) の国内 EC サイトの海外販売をサポートしており、配送対象は 118 ヶ国/地域に上ります。国境を越えた商取引の障壁となる「言語」「決済」「物流」の問題を解消することに加え、海外発送オペレーションやグローバルなカスタマーサポートなど独自のノウハウを培ってまいりました。12 年以上の越境 EC 購買データベースの構築や機械学習など、テクノロジーを活用して海外のお客さまに便利で分かりやすく、安心してご利用いただけるサービスづくりに努めております。配送手段、決済手段が多様であることや、複数のサイトで購入した商品でも同梱できることなど高いサービスレベルを海外のお客さまに評価いただき、会員数は 250 万人以上 (2020 年 9 月末時点) となりました。

## 【BEENOS 株式会社の概要】

社名 : BEENOS 株式会社

代表者 : 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太

本店所在地 : 東京都品川区北品川四丁目 7 番 35 号

設立年月 : 1999 年 11 月

以上